

令和4年就業構造基本調査結果の概要について

令和4年就業構造基本調査結果について、富山市の概要は以下の通りです。

1 15歳以上人口の就業状態

(1) 有業者数及び有業率・男女共に前回調査より上昇

富山市の15歳以上人口355,400人のうち、有業者は218,300人となっており、前回調査（平成29年）と比べて1,700人増加した。また、有業率は、61.4%であり、前回調査から1.9ポイント増加した。

有業率を男女別に見ると、男性が70.4%であり、前回調査より2.0ポイント上昇し、女性は53.0%であり、前回調査と比べて1.8ポイント上昇している。

有業率を全国結果と比較すると、男性は全国結果に比べて1.3ポイント高く、女性は0.2ポイント低くなっている。

表1 男女別15歳以上人口、有業者数及び有業率（富山市、全国）

（単位 千人、%）

		富山市			全国		
		15歳以上人口	有業者	有業率	15歳以上人口	有業者	有業率
令和4年	総数	355.4	218.3	61.4	110,195.2	67,060.4	60.9
	男	171.9	121	70.4	53,134.7	36,706.2	69.1
	女	183.5	97.3	53.0	57,060.5	30,354.2	53.2
平成29年	総数	364	216.6	59.5	110,976.7	66,213.0	59.7
	男	175.7	120.2	68.4	53,542.9	37,074.1	69.2
	女	188.3	96.4	51.2	57,433.9	29,138.9	50.7

(2) 男女別、年齢5歳階級別の有業率

・男女共に60歳代の有業率が上昇、多くの年齢階級で全国を上回る

有業率を男女別・年齢5歳階級別にみると、男性は25歳から59歳までの各年齢階級で90%を上回っており、前回調査と比べると30～34歳と、50～59歳の有業率が大きく上昇している。女性は、前回調査と比べると40歳～44歳と、55～74歳の有業率が大きく上昇している。

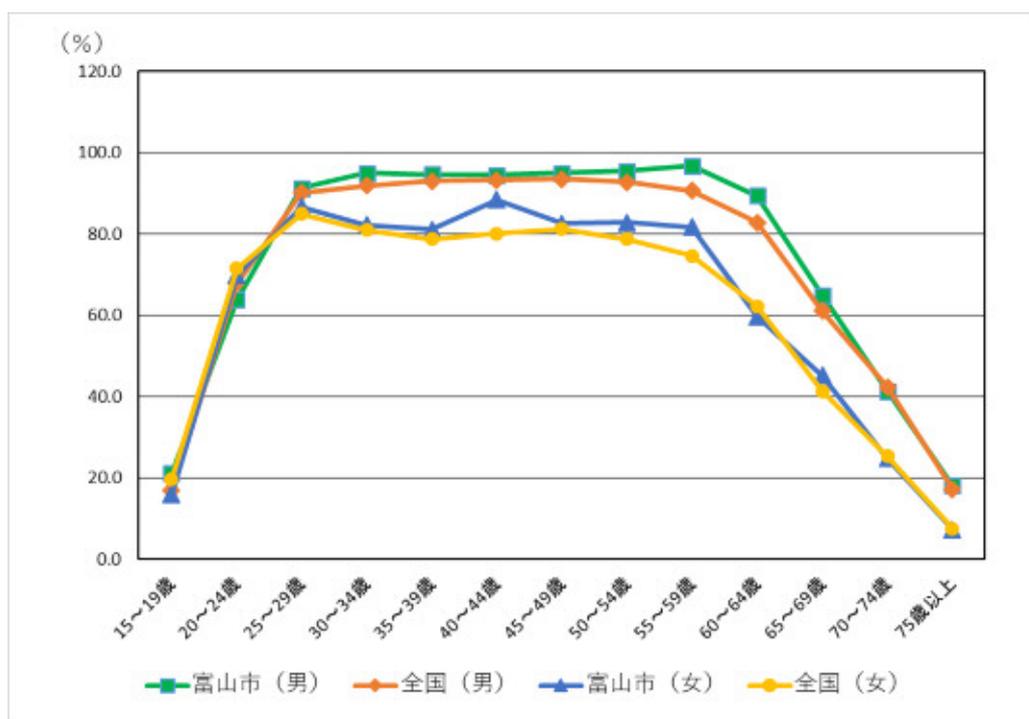
全国と比べると、男女共に、多くの年齢階級で全国を上回っている。

表2 男女・年齢5歳階級別有業率(富山市、全国)

(単位：%)

	男			女			
	令和4年	平成29年	増減	令和4年	平成29年	増減	
富山市	総数	70.4	68.4	2.0	53.0	51.2	1.8
	15～19歳	21.1	14.7	6.4	15.9	12.8	3.1
	20～24歳	63.8	68.3	▲4.5	69.8	70.6	▲0.8
	25～29歳	91.3	89.1	2.2	86.7	91.0	▲4.3
	30～34歳	95.0	88.5	6.5	82.2	76.9	5.3
	35～39歳	94.6	95.4	▲0.8	81.1	81.7	▲0.6
	40～44歳	94.5	96.3	▲1.8	88.4	77.5	10.9
	45～49歳	95.0	94.7	0.3	82.6	88.2	▲5.6
	50～54歳	95.5	90.1	5.4	82.8	84.1	▲1.3
	55～59歳	96.8	91.1	5.7	81.7	70.5	11.2
	60～64歳	89.4	83.1	6.3	59.7	54.3	5.4
	65～69歳	65.0	59.5	5.5	45.2	37.5	7.7
	70～74歳	41.4	40.1	1.3	24.8	17.6	7.2
75歳以上	18.1	10.9	7.2	7.3	5.0	2.3	
全国	総数	69.1	69.2	▲0.1	53.2	50.7	2.5
	15～19歳	16.9	16.8	▲0.1	19.6	18.1	1.5
	20～24歳	67.8	68.0	▲0.2	71.5	69.2	2.3
	25～29歳	90.2	90.3	▲0.1	85.0	81.2	3.8
	30～34歳	91.9	93.1	▲1.2	81.0	74.0	7.0
	35～39歳	93.0	93.5	▲0.5	78.7	72.9	5.8
	40～44歳	93.3	93.8	▲0.5	80.1	76.9	3.2
	45～49歳	93.5	93.3	0.2	81.2	77.9	3.3
	50～54歳	92.8	93.0	▲0.2	78.8	76.8	2.0
	55～59歳	90.7	91.4	▲0.7	74.6	70.4	4.2
	60～64歳	82.9	79.9	3.0	62.2	55.1	7.1
	65～69歳	61.1	56.3	4.8	41.4	35.4	6.0
	70～74歳	42.3	37.5	4.8	25.3	21.6	3.7
75歳以上	17.3	16.3	1.0	7.6	6.6	1.0	

図1 男女・年齢5歳階級別有業率 (令和4年-富山市、全国)



2. 雇用者の雇用形態 ・ ・ 全国に比べ、「正規の職員・従業員」の占める割合が高い

富山市の有業者218,300人のうち、雇用者（役員を除く）は187,100人で、これを雇用形態別に見ると、「正規の職員・従業員」が126,500人（雇用者（役員を除く）に占める割合67.6%）、「パート」が30,100人（同16.1%）、「アルバイト」が11,100人（同5.9%）、契約社員が7,700人（同4.1%）などとなっている。

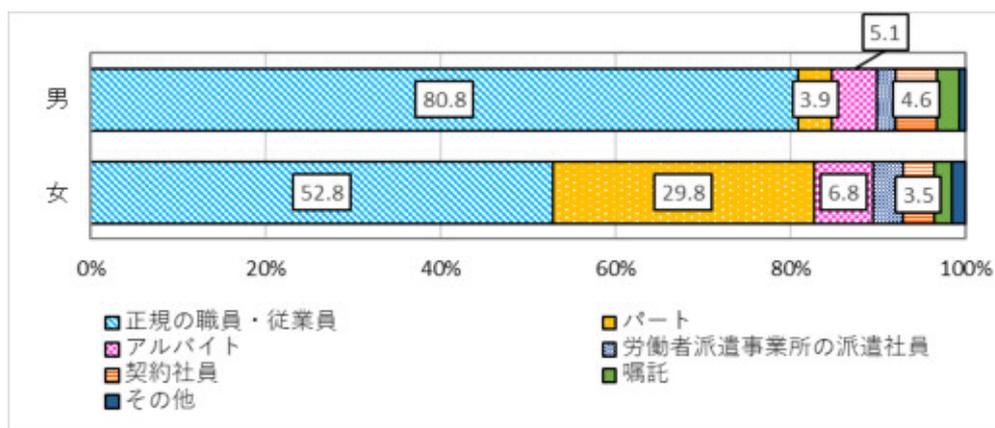
雇用者（役員を除く）に占める割合を男女別に見ると、男性は「正規の職員・従業員」が80.8%と最も多く、次いで「アルバイト」が5.1%、「契約社員」が4.6%となっている。女性は、「正規の職員・従業員」が52.8%と最も多く、次いで「パート」が29.8%、「アルバイト」が6.8%となっており、男性に比べて「パート」「アルバイト」等の「非正規の職員・従業員」の割合が多くなっている。

表3 男女別、雇用形態別、雇用者数（役員を除く）及び構成比（富山市）

（単位：千人、%）

		雇用者 （役員を 除く）	正規の職 員・従業 員	非正規の 職員・従 業員	パート	アルバイ ト	労働者派遣 事業所の派 遣社員	契約社員	嘱託	その他
人数 (千人)	令和4年									
	総数	187.1	126.5	60.6	30.1	11.1	5.2	7.7	4.4	2.1
	男	99.3	80.2	19.1	3.9	5.1	2.2	4.6	2.6	0.7
	女	87.9	46.4	41.5	26.2	6.0	3.0	3.1	1.8	1.4
	平成29年									
	総数	187.1	123.1	64.0	32.3	11.7	3.9	8.7	4.8	2.4
構成比 (%)	令和4年									
	総数	100.0	67.6	32.4	16.1	5.9	2.8	4.1	2.4	1.1
	男	100.0	80.8	19.2	3.9	5.1	2.2	4.6	2.6	0.7
	女	100.0	52.8	47.2	29.8	6.8	3.4	3.5	2.0	1.6
	平成29年									
	総数	100.0	65.8	34.2	17.3	6.3	2.1	4.6	2.6	1.3
	男	100.0	80.0	20.0	4.1	5.4	1.3	5.4	2.7	1.1
	女	100.0	50.0	50.1	32.1	7.3	2.9	3.9	2.4	1.6

図2 男女別、雇用形態別雇用者の構成比（令和4年－富山市）



次に、雇用者（役員を除く）に占める正規の職員・従業員の割合を全国と比較すると、富山市は67.6%、全国は63.1%となっており、富山市の方が全国よりポイントが高くなっている。若年者（15～34歳）においても、富山市は73.5%、全国は69.7%と、全国よりポイントが大きく高くなっている。

**表4 男女別、雇用者（役員を除く）に占める正規の職員・従業員の割合
（富山市、全国）**

（単位：％）

	富山市		全国	
	令和4年	平成29年	令和4年	平成29年
総数	67.6	65.8	63.1	61.8
若年者（15～34歳）	73.5	77.0	69.7	67.1
男	80.8	80.0	77.9	77.7
若年者（15～34歳）	79.6	84.8	76.6	76.0
女	52.8	50.0	46.8	43.4
若年者（15～34歳）	66.8	68.1	62.4	57.0

3 テレワークの実施状況、フリーランスの状況

（1）テレワークの実施状況

・・テレワークを実施した者は有業者全体の約1割、実施場所は自宅が最も多い
1年間のうち「テレワークを実施」したものは、有業者全体の13.1%であり、全国の19.1%と比べて6.0ポイント少なかった。

また、テレワークの実施場所別にみると、「自宅」が91.2%と最も多い。

**表5 テレワークの実施の有無、テレワークの実施の場所別有業者に占める割合
（令和4年－富山市、全国）**

（単位：％）

	テレワークを実施			実施していない
	自宅	サテライトオフィス	その他	
富山市				
総数	13.1	91.2	2.8	5.3
男	16.0	90.1	2.6	6.3
女	9.5	93.5	3.3	2.2
全国				
総数	19.1	93.7	2.1	3.4
男	23.2	93.3	2.3	3.7
女	14.1	94.5	1.8	3.0

注）有業者に占める割合は、「テレワークの実施の有無」が不詳の者を除いて算出。
テレワークの実施の場所別の割合は、テレワークを実施した者に占める割合である。

(2) フリーランスの状況 ・ ・ フリーランスの者の割合は、全国に比べ低い

有業者に占める「フリーランス」の者の割合は2.9%、「本業がフリーランスの者」が2.2%と、全国と比べていずれも割合が低くなっている。

表6 フリーランスの者及び本業がフリーランスの者の有業者に占める割合
(令和4年－富山市、全国)

(単位：%)

	有業者に占めるフリーランスの者の割合	有業者に占める本業がフリーランスの者の割合
富山市	2.9	2.2
全国	3.8	3.1

4 育児・介護をしている者の就業状態

(1) 育児をしている者の有業率 ・ ・ ・ 女性の有業率が大幅に上昇

育児をしている者の有業率は、88.4%であり、前回調査より3.7ポイント上昇している。

男女別に見ると、男性が99.3%、女性が78.8%となっており、女性の方が割合が低くなっている。前回調査と比較すると、女性は7.0ポイント上昇しており、特に40歳以上で13.3ポイントと大きく上昇している。

全国結果と比較すると、育児をしている者の有業率は、全国に比べ富山市は高くなっている。

表7 男女・年齢別育児をしている者の有業率（富山市、全国）

(単位：%)

	総数			男			女		
	令和4年	平成29年	増減	令和4年	平成29年	増減	令和4年	平成29年	増減
総数	88.4	84.7	3.7	99.3	100.0	▲ 0.7	78.8	71.8	7.0
29歳以下	82.1	84.2	▲ 2.1	100.0	100.0	0.0	73.7	71.4	2.3
30～39歳	87.0	84.2	2.8	98.7	100.0	▲ 1.3	77.2	72.0	5.2
40歳以上	92.8	84.8	8.0	100.0	100.0	0.0	83.7	70.4	13.3
総数	85.2	79.2	6.0	99.0	98.9	0.1	73.4	64.2	9.2
29歳以下	79.5	72.1	7.4	97.7	97.9	▲ 0.2	68.6	57.3	11.3
30～39歳	84.9	78.3	6.6	99.0	99.1	▲ 0.1	73.8	63.2	10.6
40歳以上	87.5	83.4	4.1	99.2	98.8	0.4	74.8	69.2	5.6

(2) 介護をしている者の有業率 ・ ・ ・ 介護をしている者の有業率は上昇

介護をしている者の有業率は63.8%であり、前回調査より7.1ポイント上昇している。年代別に見ると、60代以上で大きな上昇がみられる。

男女別に見ると、男性は75.3%であり、前回調査より1.6ポイント上昇しており、女性は57.1%と前回調査より10.6ポイント上昇している。

全国と比較すると、介護をしている者の有業率は、全国が58.0%に対し、富山市は63.8%と値が高くなっている。

表8 男女・年齢別介護をしている者の有業率（富山市、全国）

（単位：％）

		総数			男			女		
		令和4年	平成29年	増減	令和4年	平成29年	増減	令和4年	平成29年	増減
富山市	総数	63.8	56.7	7.1	75.3	73.7	1.6	57.1	46.5	10.6
	40歳未満	69.2	80.0	▲ 10.8	60.0	83.3	▲ 23.3	75.0	66.7	8.3
	40～49歳	81.0	73.9	7.1	87.5	85.7	1.8	66.7	70.6	▲ 3.9
	50～59歳	77.8	77.2	0.6	95.0	94.7	0.3	73.2	68.4	4.8
	60～69歳	66.7	50.8	15.9	78.1	69.0	9.1	54.0	36.1	17.9
	70歳以上	27.9	13.2	14.7	38.9	33.3	5.6	23.1	7.4	15.7
全国	総数	58.0	55.2	2.8	67.0	65.3	1.7	52.7	49.3	3.4
	40歳未満	70.6	69.8	0.8	72.3	75.1	▲ 2.8	69.3	66.1	3.2
	40～49歳	76.7	74.9	1.8	87.0	87.4	▲ 0.4	70.9	68.2	2.7
	50～59歳	75.8	71.9	3.9	86.8	87.4	▲ 0.6	69.9	64.3	5.6
	60～69歳	53.9	47.6	6.3	65.5	60.3	5.2	46.9	39.5	7.4
	70歳以上	18.9	15.9	3.0	26.5	21.2	5.3	14.2	12.4	1.8

5 夫婦共働き世帯の状況 ・ ・ ・ 全国と比べ、共働き世帯の割合が多い

「夫婦のみの世帯」「夫婦と親から成る世帯」「夫婦と子供から成る世帯」及び「夫婦、子供と親から成る世帯」のうち、「夫婦ともに有業の世帯（夫婦共働き世帯）」の占める割合は、54.8%と、前回調査より0.4ポイント上昇している。

世帯の類型別にみると、「夫婦、子供と親から成る世帯」の夫婦共働き世帯の割合が、78.3%と最も高くなっている。

全国結果と比較すると、全国の夫婦共働き世帯の割合は50.9%であり、富山市が3.9ポイント割合が高くなっている。

表9 世帯の家族類型別夫婦共働き世帯の割合（富山市、全国）

（単位：％）

	富山市			全国		
	令和4年	平成29年	増減	令和4年	平成29年	増減
総数	54.8	54.4	0.4	50.9	48.8	2.1
夫婦のみの世帯	37.8	38.0	▲ 0.2	35.5	33.9	1.6
夫婦と親から成る世帯	60.5	61.0	▲ 0.5	61.2	59.9	1.3
夫婦と子供から成る世帯	66.6	63.4	3.2	62.3	57.5	4.8
夫婦、子供と親から成る世帯	78.3	75.9	2.4	76.2	74.2	2.0

6 年間就業日数、週間就業時間

（1）年間就業日数・・・就業日数が250日以上の雇用者の割合は低下

雇用者（会社などの役員を含む）の年間就業日数別の割合をみると、「200～249日」が43.3%と最も高く、次いで「250～299日」が31.2%となっている。前回調査と比較すると、「200日未満」が3.4ポイント上昇、「200～249日」が3.5ポイント上昇しているのに対し、「250～299日」が6.5ポイント低下、「300日以上」が0.3ポイント低下している。

表10 男女・年間就業日数別雇用者（役員を含む）の割合（富山市、全国）

（単位：％）

		総数			男			女		
		令和4年	平成29年	増減	令和4年	平成29年	増減	令和4年	平成29年	増減
富山市	200日未満	19.7	16.3	3.4	13.8	11.2	2.6	26.8	22.4	4.4
	200～249日	43.3	39.8	3.5	43.0	38.4	4.6	43.6	41.6	2.0
	250～299日	31.2	37.7	▲ 6.5	36.2	42.3	▲ 6.1	25.4	32.3	▲ 6.9
	300日以上	5.8	6.1	▲ 0.3	7.0	8.1	▲ 1.1	4.2	3.8	0.4
全国	200日未満	22.1	20.6	1.5	14.8	13.0	1.8	30.7	29.8	0.9
	200～249日	43.8	39.3	4.5	44.9	39.1	5.8	42.4	39.5	2.9
	250～299日	28.0	33.6	▲ 5.6	32.5	39.3	▲ 6.8	22.8	26.6	▲ 3.8
	300日以上	6.1	6.5	▲ 0.4	7.9	8.5	▲ 0.6	4.0	4.1	▲ 0.1

注）割合は、「年間就業日数」が不詳の者を除いて算出している。

(2) 週間就業時間 ・ ・ ・ 週間就業時間「40～49時間」の割合が最も多い

年間就業日数200日以上雇用者（会社などの役員を含む）の週間就業時間別の割合を見ると、「40～49時間」が57.0%と最も高くなっている。

男女別にみると、男性は「40～49時間」が60.1%と最も高く、次いで「50～59時間」が16.7%、女性は「40～49時間」が52.2%と最も高く、次いで「40時間未満」が38.4%となっている。

全国と比較すると、全国より富山市の方が「50～59時間」、「60時間以上」の割合が低く、「40時間未満」、「40～49時間」の割合が高くなっている。

表 1 1 男女・週間就業時間別雇用者（役員を含む・年間就業日数200日以上）の割合
（令和4年－富山市、全国）

（単位：％）

	富山市			全国		
	総数	男	女	総数	男	女
40時間未満	25.5	16.5	38.4	24.9	15.9	37.9
40～49時間	57.0	60.1	52.2	55.9	59.0	51.5
50～59時間	12.6	16.7	6.8	13.2	17.1	7.7
60時間以上	4.8	6.7	2.6	5.9	8.0	2.9

（注）割合は、「週間就業時間」が不詳の者を除いて算出している。

7 転職就業者及び離職非就業者の前職を離職した理由

・ ・ ・ 「労働条件が悪かった」とする者が最も多い。

過去5年間に前職をやめた転職就業者及び離職非就業者について、離職した理由別に割合を見ると、「労働条件が悪かった」とする者の割合が、13.2%と最も高く、次いで「病気・高齢のため」が9.9%、「定年のため」が8.9%となっている。

表 1 2 過去5年間に前職を離職した者に占める前職の離職理由別割合
(令和4年ー富山市、全国)

(単位：%)

	富山市	全国
会社倒産・事業所閉鎖のため	3.9	5.0
人員整理・勧奨退職のため	3.8	2.8
事業不振や先行き不安のため	2.2	3.4
定年のため	8.9	8.7
雇用契約の満了のため	5.8	7.0
収入が少なかったため	7.2	6.9
労働条件が悪かったため	13.2	11.7
結婚のため	2.7	1.8
出産・育児のため	4.5	3.5
介護・看護のため	2.7	2.4
病気・高齢のため	9.9	10.9
自分に向かない仕事だった	7.4	7.1
一時的についた仕事だから	5.5	4.6
家族の転職・転勤又は事業所の移転のため	1.4	1.6
その他	20.8	22.5

注) 割合は、「前職の離職理由」が不詳の者を除いて算出している。

8 無業者の状況

(1) 無業者の就業希望意識 …… 無業者に占める就業希望者の割合は増加

無業者に占める就業希望者の割合は、15.1%であり、前回調査より1.2ポイント増加している。

男女別にみると、男性は15.4%で前回調査より1.5ポイント増加、女性は15.0%で前回調査より1.2ポイント増加している。

一方、全国では就業希望者の割合は低下している。

表 1 3 男女別無業者に占める就業希望者の割合 (富山市、全国)

(単位：%)

	富山市			全国		
	令和4年	平成29年	増減	令和4年	平成29年	増減
総数	15.1	13.9	1.2	18.3	19.5	▲ 1.2
男	15.4	13.9	1.5	19.2	19.5	▲ 0.3
女	15.0	13.8	1.2	17.8	19.5	▲ 1.7

注) 割合は、「就業希望の有無」が不詳の者を除いて算出している。

(2) 非就業希望者の就業を希望しない理由・・・「高齢のため」が最も多い

非就業希望者の就業を希望しない理由を見ると、「高齢のため」が57.3%と最も高く、次いで「通学のため」が13.3%、「特に理由はない」が10.5%となっている。

表14 非就職希望理由別非就業希望者に占める割合（令和4年－富山市、全国）

（単位：％）

	富山市	全国
出産・育児のため	1.0	1.4
介護・看護のため	1.6	2.1
家事（出産・育児・介護・看護以外）のため	2.4	2.2
通学のため	13.3	13.7
病気・けがのため	6.6	9.2
高齢のため	57.3	53.3
学校以外で進学や資格取得などの勉強をしている	0.3	0.4
ボランティア活動に従事している	0.9	0.8
仕事をする自信がない	2.4	2.1
その他	3.8	4.8
特に理由はない	10.5	9.9

注）割合は、「非就業希望理由」が不詳の者を除いて算出している。

～利用上の注意～

- ・統計表の数値は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。
- ・本調査の結果は、抽出した標本より得られた数から全体を推計して算出したものであり、実数ではありません。

○担当：富山市企画管理部企画調整課統計調査係
電話076-443-2011（直通）

～用語の解説～

(総務省統計局「令和4年就業構造基本調査 結果の概要」より抜粋)

有業者・・・ふだん収入を得ることを目的として仕事をしており、調査日(令和4年10月1日)以降もしていくことになっている者及び仕事は持っているが現在は休んでいる者。

有業率・・・15歳以上人口に占める有業者の割合。

無業者・・・ふだん仕事をしていない者、すなわちふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をしていない者。

正規の職員・従業員・・・一般職員又は正社員などと呼ばれている者。

パート・・・就業の時間や日数に関係なく、勤め先で「パートタイマー」又はそれに近い名称で呼ばれている者。

アルバイト・・・就業の時間や日数に関係なく、勤め先で「アルバイト」又はそれに近い名称で呼ばれている者。

労働者派遣事業所の派遣社員・・・「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」などに基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣されて働いている者。ただし、次のような業務に従事する者は含めない。

- ・港湾運送業務、建設業務、警備業務、医療関係の業務
- ・デパートの派遣店員など
- ・民営の職業紹介機関やシルバー人材センターなどの紹介による場合や請負、出向

契約社員・・・専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用され、雇用期間の定めのある者。

嘱託・・・労働条件や契約期間に関係なく、勤め先で「嘱託職員」又はそれに近い名称で呼ばれている者。

テレワーク ・ ・ 有業者が情報通信技術（ICT）を活用して、本拠地のオフィス（事業場・仕事場）から離れた場所（自宅、サテライトオフィス、出先、移動中の乗り物等）で仕事をするをいう。または、雇人がいない自営業主が、ICT を活用して、自宅や自宅に準じた場所で、注文者からの委託を受けて仕事をするをいう。

サテライトオフィス ・ ・ 事業主の指定する場所であり、かつ、本拠地のオフィスとは別の場所にあるオフィススペースなどをいう。

フリーランス ・ ・ 有業者のうち、実店舗がなく雇人もいない自営業主又は一人社長であって、その仕事で収入を得る者。

育児をしている ・ ・ ふだん「育児をしている」とは、小学校入学前の未就学児を対象とした育児をいい、以下のようなことを指す。ただし、孫、おい・めい、弟妹の世話などは含まない。

- ・ 乳幼児の世話や見守り
- ・ 乳児のおむつの取替え
- ・ 就学前の子供の送迎、付添い、見守りや勉強・遊び・習い事などの練習の相手
- ・ 就学前の子供の保護者会への出席

介護をしている ・ ・ ふだん家族の「介護をしている」とは、日常生活における入浴・着替え・トイレ・移動・食事などの際に何らかの手助けをする場合をいい、介護保険制度で要介護認定を受けていない人や、自宅外にいる家族の介護も含まれる。ただし、病気などで一時的に寝ている人に対する介護はこれに含まない。なお、ふだん介護をしているかはっきり決められない場合は、1年間に30日以上介護をしている場合を「介護をしている」とする。

年間就業日数 ・ ・ 主な仕事に従事した1年間の就業日数をいう。

週間就業時間 ・ ・ 就業規則などで定められている時間ではなく、残業を含むふだんの1週間の実労働時間をいう。

転職就業者 ・ ・ 前職がある有業者のこと。

離職非就業者 ・ ・ 前職がある無業者のこと。